

発行日・令和元年6月10日

発行元・服部農園有限公司

編集長・女将さん/服部都史子

絶賛、麦刈り中！

この季節の大口町は風になびく金色の大麦と五条川の新緑が美しい。

5月17日、今シーズンの麦刈りが始まりました。昨年は冬の寒さや湿害を受け、県下では30年に一度と言われる大凶作だった大麦。今年は天候にも恵まれ、おそらく過去最高の収穫高、品質になることでしょう。麦担当主任の恵良くんも心躍っている様子です。大口町の大麦は「六条大麦」。大麦の穂を上から見ると6条(六角形)になっているのが特徴です。麦茶として加工されます。

大麦の高さに合わせ、六角形の回転部(プラットフォーム)を上下しながら収穫。乗り手は林くん、中堅リーダーが大活躍！



乾燥機へ張り込み中
センターには支えてくれるメンバーがいます



麦担当の恵良くん
マスク姿で失礼します(^-^)



絶賛、田植え中！

6月1日から田植えが始まりました。「この間まで麦畑だと思っていたら、ある日突然田んぼに変わっていた！」と近所の方がビックリするほどの速さで大麦畑だった所が田んぼへ変わっていきます。一枚の田んぼを麦、米と年二回作付けする二毛作です。米づくりは冬場の耕起、畦の補修や畦畔除草に始まり、春作業の耨まき、苗床づくりに苗並べ、育苗作業を経て、6月は田植えの季節です。今年93haの米づくり。良い米がとれますように、田の神様に祈願して米づくりのスタートです！

苗田には田の神様



元気くん作業
苗に負荷をかけて強く育てます



GPS付きマシン。衛生と連動して真っ直ぐ進むよう助けてくれます。農業現場も進化しています



お陰様で 20 周年

令和元年5月6日をもちまして、服部農園有限会社は法人化20周年を迎えました。

合わせて今年は、父(現会長)靖宏が15歳で農家になって60年、節目の一年でもあります。

これまで何度も「もうダメか」と思うようなピンチがあり、振り返ればどんな局面でも「諦めない」父と母の姿がありました。昭和50年代、農地が整備され区画が広くなり、これからは大規模農家の時代と確信。借金をして大きなトラクターを手に入れた父。機械の借金を返すため面積を広げ、広げた面積を耕作するため、また機械が必要に…。気が付いたら町で一番大きな農家になっていました。当時は借金との追いかっことで、「夫婦二人で40haはキツかった」父はそう振り返ります。父の脳裏に「法人化」という文字が浮かび始めた頃、時代は平成へ。祖母を看取り、長女は結婚が決まり、次女は就職。やっと肩の荷がおりたと母がホッとしたのも束の間の事でした。

平成6年5月、父が病に倒れた時、父は50歳、脳内出血でした。

田植えが始まるという米農家にとって一年で一番大切な時期。

「やっちゃんとも、もう終わった。」そんな声すら耳に入る中、助けてくれた人たちがいました。父の友達、町内の農家仲間、親戚、娘の婚約者に彼氏、農地を任せ続けてくれた地主さんたち…。数えきれない程たくさんの人にお世話になっての20年。諦めず、何度も立ち上がった父と母の20年。ありがとうでいっぱい。



さよならジャコモ

5月4日付けでジャコモがさよならしました。

「Ciao(チャオ)」とウインクして帰っていく姿が見られないのは正直さみしい。イタリアでは左官職人だったジャコモ。日本人の奥さんと結婚して日本にやって来ました。農園で2年半一緒に働いてくれました。

分からない日本語の地図に米農家という仕事。

ジャコモにとっては試練の連続だったと思います。7月には2人目のBABYが産まれてくるね。

次の職場でも頑張ってください！

これからはトモダチ。

遊びにおいでね。



編集日記

農園メンバーの奥さんと子ども達を連れて現場を見に行ったら。籾まき、苗田での作業、田植え、麦刈り…。働く父ちゃんを見て子ども達が大喜び！見た事のない大きな機械を動かす父ちゃん達。

トラクター、コンバイン、田植え機…。農業重機オールスターズだ。そういえば私も、子どものころ働く父母を見るのが好きだった。背の高いトラックから見える景色は格別だった。赤い大きなトラクターに乗る父をカッコイイと思った。用水に葉っぱを流して追いかっこ、ドキドキしながらザリガニを掴んだ。春も秋も忙しい米農家。どこかへ連れて行ってもらった特別な記憶はないが、懸命に働く父母と、小さな冒険が思い出だ。子どもでいられる時間は短い。沢山の思い出を農園の子ども達にと願う。 女将より

【私たちのミッション】 10年後、100年後、この町にこの景色を残したい

私達は環境に配慮した循環型農業への取組みと、次世代を担う農業者の育成に力を入れている農園です。

服部農園有限会社 〒480-0125 愛知県丹羽郡大口町外坪 3-158

TEL:0587-81-6688 / FAX:0587-50-5767 / Facebook 毎日更新中/http://www.hattorinouen.com

このお便りは服部農園でお米を買って下さっている方、農地のご地主様を含め、ご縁のある方に発行しております。

「次回からは不要だよ」という方はお手数ですが、メールかFAXにてお名前をご記入の上、ご一報願います。